

JR連合への総結集と
労使の信頼関係構築へ全力をあげ
職場からの安全確立
政策課題の解決・前進を図ろう!

http://www.jr-rengo.jp



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
1部20円 (但し組合費に含む)
●発行者 荻山市朗 ●編集者 宮野勇馬



JR連合



JR連合

2023年度役員の仕事分担を決定

第33回定期大会以降に開催した執行委員会（第1回：6月13日、第2回：7月30日、第3回：8月30日）において、三役・執行委員の仕事分担を決定するとともに、会計監査員の承認、および特別執行委員の指定を行った。

また、単組大会における役員改選により一部役員を補充する必要が生じたことから、第2回執行委員会においてその補充を承認した。

役職名	氏名	仕事分担
会長	荻山 市朗	総括・JR私傷病共済運営委員会委員長
副会長	昆 弘美	産業政策委員会副委員長
	菅野 一位	組織・財政検討委員会副委員長
	尾内 裕昭	労働政策委員会委員長、組織・財政検討委員会委員長
	上村 良成	産業政策委員会委員長、政治対策委員会委員長
	大谷 清	男女平等参画推進委員会委員長
	吉田 祥司	安全対策委員会委員長
	辻村 和裕	政治対策委員会副委員長
事務局長	政所 大祐	事務局総括、総務財政局長・福祉対策局長兼務、JR私傷病共済運営委員会事務局長、退職者連絡会担当
執行委員	宮野 勇馬	企画局長、広報局長、中期労働政策ビジョン改訂PT担当(主査)、ボランティア担当、総務財政担当、JR私傷病共済担当、JR健保担当
	相良 夏樹	組織局長、政治局長、男女平等参画推進担当、青年・女性委員会担当(主査)、自動車連絡会担当(副主査)
	石川 敏也	産業政策局長、安全担当、自動車連絡会担当(主査)
	住吉 一家	労働政策局長、教育局長、グループ労組担当、医療連絡会担当、青年・女性委員会担当(副主査)、中期労働政策ビジョン改訂PT担当(副主査)
	今井 孝治	安全対策委員会副委員長
	羽野 敦之	労働政策委員会副委員長
	吉田 春菜	男女平等参画推進委員会副委員長
会計監査員	宮崎 勝典	
	福本 英治	
特別執行委員	奥村 敬弥	グループ労組連絡会代表幹事
	沖島 裕章	青年・女性委員会議長
	三浦 寛顕	青年・女性委員会事務長
	慶島 譲治	中央交運労協派遣(事務局長)
	中山 耕介	連合本部派遣(組織企画局長)
	本田 雅明	こくみん共済coop派遣(交運共済専務理事)

交通共済の第128回通常総代会が7月31日、都内に100人近い総代の参加のもと、開催された。

冒頭、松岡裕次理事長(JR連合前会長)から、こくみん共済coopへの契約移行について、組合員各位の奮闘に改めて感謝の意が述べられた。

理事側から事業報告がある。

【交通共済】 理事長に荻山会長が就任

第128回通常総代会開催

交通共済の第128回通常総代会が7月31日、都内に100人近い総代の参加のもと、開催された。

冒頭、松岡裕次理事長(JR連合前会長)から、こくみん共済coopへの契約移行について、組合員各位の奮闘に改めて感謝の意が述べられた。

理事側から事業報告がある。



教育・広報担当委員会

本年度の教育・広報活動の具体的な取り組みの意思統一を目的に各組担当者で議論を行った。

教育活動については、第22回青年女性役員研修会を12月15日から16日にかけて、東京エリアを中心に集合形式で開催することを決定した。前年度は航空連合と連携して開催し、大変好評であったため、今年度は電力総連と連携した取り組みを行うことが確認された。

広報活動については、継続して機関紙「JR連合」を各組からの寄稿を取り入れながら発行することとされた。

「JR連合」は、Twitter、Instagram等に加え、一部の単組で活用されているLINE公式アカウントなどを活用し、JR連合運動を積極的に周知していく方針について、意見交換を行った。

また、業種間安全検討会において、他産業・組織の安全対策や事例を学ぶ機会とするため、今年度は基幹労連と意見交換を行い、さらにエリア連合においては、安全デイスカッションを継続的に開催することを要請するとともに、JR連合も積極的に参画することとした。

教育・広報担当委員会(8月21日)

本年度の教育・広報活動の具体的な取り組みの意思統一を目的に各組担当者で議論を行った。

教育活動については、第22回青年女性役員研修会を12月15日から16日にかけて、東京エリアを中心に集合形式で開催することを決定した。前年度は航空連合と連携して開催し、大変好評であったため、今年度は電力総連と連携した取り組みを行うことが確認された。

広報活動については、継続して機関紙「JR連合」を各組からの寄稿を取り入れながら発行することとされた。

「JR連合」は、Twitter、Instagram等に加え、一部の単組で活用されているLINE公式アカウントなどを活用し、JR連合運動を積極的に周知していく方針について、意見交換を行った。

また、業種間安全検討会において、他産業・組織の安全対策や事例を学ぶ機会とするため、今年度は基幹労連と意見交換を行い、さらにエリア連合においては、安全デイスカッションを継続的に開催することを要請するとともに、JR連合も積極的に参画することとした。

教育・広報担当委員会(8月21日)

本年度の教育・広報活動の具体的な取り組みの意思統一を目的に各組担当者で議論を行った。

教育活動については、第22回青年女性役員研修会を12月15日から16日にかけて、東京エリアを中心に集合形式で開催することを決定した。前年度は航空連合と連携して開催し、大変好評であったため、今年度は電力総連と連携した取り組みを行うことが確認された。

広報活動については、継続して機関紙「JR連合」を各組からの寄稿を取り入れながら発行することとされた。

「JR連合」は、Twitter、Instagram等に加え、一部の単組で活用されているLINE公式アカウントなどを活用し、JR連合運動を積極的に周知していく方針について、意見交換を行った。

連合ホームページにJR連合の仲間の声が

2023年5月に開設された連合の新サイト「RENGO ONLINE(連合オンライン)」の特集記事として、JR連合の仲間である、JR東海ユニオン名古屋地方本部執行委員の西川由紀子さんの記事が掲載された。

出産を機に会社を辞めていく仲間たちを前に、「何とかしなければ」という思いで組合員の立場から会社に訴え、制度を変えた奮闘ぶりが掲載されている。

「JR連合ビジョン」に掲げる「仲間」に寄り添い、想いや抱える悩みに耳を傾け、その解決に向けて取り組むことを、まさに具現化している内容であり、是非一読いただきたい。

はたらくを考える

出産を機に辞める仲間たち
「何とかしなきゃ」組合員の声が会社を変えた
https://www.jtuc-rengo.or.jp/rengo_online/2023/07/05/1462/



総代会終了後に開催された第1回理事会において、JR連合の荻山市朗会長を理事長に、JR西労組の本田雅明前副委員長を専務理事にすることが承認され、新たな体制での交通共済がスタートすることとなった。

今後、交通共済は、こくみん共済coopへの契約移行に伴う業務を引き続き行うほか、数年後に控えた総合共済の見直し業務を行うこととなる。組合員各位の引き続きのご協力を要請する。



連合2023 平和行動 働く仲間とともに 世界平和の実現に向けて

◆ 平和行動 in 沖縄
沖縄が「慰霊の日」を迎えた6月23日、連合は那覇市内において、連合2023 平和行動 in 沖縄「平和とオキナワ集会」を開催した。「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう」をテーマに掲げた同集会には約1000人の仲間が集まり、JR連合からはJR九州労組組合員とともに3人が参加した。集会の第1部では、琉球大学人文社会学部国際法政学科・山本章子准教授より

「日米地位協定と沖縄」と題した基調講演が行われた。第2部の平和式典では、主催者を代表して芳野友子連合会長が挨拶に立ち、「私たちは安心して働くために、平和な



平和行動in沖縄

社会が不可欠である。平和の尊さと戦争の悲惨さを再認識し、恒久平和の実現をめざそう」と訴えた。その後、次の平和行動が開催される広島への「ピースラリー」として、ピースフラッグが引き継がれた。最後に、「沖縄からの平和アピール」を提起し、参加者は世界の恒久平和の実現をめざすことを確認し合った。

◆ 平和行動 in 広島

8月6日、広島が78回目となる「原爆の日」を迎えるにあたり、JR連合は8月5日〜6日の2日間、広島市内各地で開催された集会や慰霊式等にJR西労組およびJR東海ユニオン、貨物鉄産労の組合員約30人に参加。核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に貢献すべく取り組み決意を確認し合った。

8月5日には、連合2023 平和行動 in 広島に参



平和行動in広島

加し、連合広島スタッフによるガイドを受けながら、原爆ドームや平和記念公園内の慰霊碑を巡り、被爆の実相に触れ、核兵器がもたらした悲劇や戦争の惨禍を学んだ。その後、市内で開催された「平和ヒロシマ集会」に参加。挨拶に立った芳野連合会長は、「誰もが心の底から願っている核兵器廃絶と『恒久平和の

◆ 平和行動 in 長崎
JR連合はJR西労組および長崎地本を中心とするJR九州労組の組合員約30



平和行動in長崎

人とともに、8月8日に開催された連合「平和ナガサキ集会」に参加した。また、連合長崎および連合PAT（ピース・アクション・チーム）のスタッフとして、JR九州労組より多くの組合員が行事の準備や運営に積極的に協力した。大型の台風6号の行事は中止となり、長

ジェイアール西日本 ホテル開発労働組合

私たちは、ジェイアール西日本ホテル開発労働組合です。発足以来、ホテルグランヴィア労働組合という名称で活動してきましたが、2019年5月に第二ブランドであるホテルヴィスキオ京都が開業したことにより、一昨年名称変更致しました。ホテル業にて24時間365日営業をしており、組合員同士の交流が少なくなってしまうがちですが、組合レクリエーションを通じて交流を図っています。コロナ禍以前はボウリング大会やBBQ、ホテル内宴会場を使つての懇親会等を定期的に開催していました。また、コロナ禍においてもお寺の特別拝観や数珠作り体験、写経等、京都を愉しめる催しを開催して、活気ある組合活動をしてきました。

部署毎に専門性のある職種が多いため、支部それぞれの役割に重点を置き、支部長のリーダーシップによって、組合員の意見吸い上げに注力しています。吸い上げた意見は、執行委員会で話し合い、労使交渉に活用しています。他のJRグループ労組と比較すると、若年層が多く、

JR連合
ふれあいキャンペーン
グループ労組めぐり
～全国の仲間を
応援しよう～

女性比率も高い労働組合となっていますので、今後JR西日本連合の女性活躍をけん引できる労組として活動していければと思っています。JR西日本連合をはじめとして、多くの仲間を支えられて今日を迎えています。私たちにできることがあれば、皆さんを支える立場にもなりたいと思います。活動を通じて、今後多くの仲間に出逢えることを楽しみにしています。



中国地協第31回定期総会

冒頭、中国地協を代表して大瀧浩一議長（JR西労組岡山地本執行委員長）が挨拶に立ち、安全の確立、2023春季生活闘争、組織の充実、強化、取り巻く環境の変化に伴う政策課題等について述べ、「会

は7月24日、名古屋市内において第32回定期委員会を開催し、向こう1年間の活動方針を決定した。総会には、伴野豊衆議院議員（JR連合国会議員懇談会副会長）に駆けつけていただき、JR連合からは石川敏也産業政策局長が挨拶を行い、東海地協の活動を牽引した丸山議長に鎌田隆司新議長（JR東海ユニオン中央執行副委員長）をはじめとする新体制を選出した。最後は、鎌

田新議長の力強い団結がばらうで定期委員会を締めくくった。

議 長 鎌田 隆司
(JR東海ユニオン)
副議長 寺西 正行
(JR東海バスユニオン)
事務局長 石原慎太郎
(JR東海ユニオン)

中国地方協議会第31回定期総会 仲間意識を大切に 世話役活動を引き続き

JR連合中国地方協議会は7月3日、米子市内において第31回定期総会を開催し、向こう1年間の方針を決定した。会場には中国エ

社組織は再編をしているが、労働組合としては仲間意識を大切に、世話役活動に引き続き取り組み」と各単組での取り組みを改めて要請した。

JR連合からは宮野勇馬企画局長が出席し、安全確立の取り組み、地方路線に関する現状と課題、物流や建設現場における2024年問題への対応などの取り組みを共有し、JR連合の一層の結集を呼びかけた。議事では、石松大介事務局長（JR西労組広島地本執行委員長）から運動方針などが一括で提起された後、質疑応答を経て、すべての議案を満場一致で可決した。役員選出では、新たに石松氏を議長に、大川達也氏（JR西労組米子地本執行委員長）を事務局長に選出

し、石松新議長の団結がばらうで新体制のスタートを切った。

化・拡大に資する取り組みとして構築した人的ネットワークを活かし継続実施を要請した。その後、渡邉有造事務局長（JR東海ユニオン前組織部長）より活動方針案等の提起がなされ、満場一致で承認された。役員改選では、東海地協の活動を牽引した丸山議長に鎌田隆司新議長（JR東海ユニオン中央執行副委員長）をはじめとする新体制を選出した。最後は、鎌



東海地協第32回定期委員会